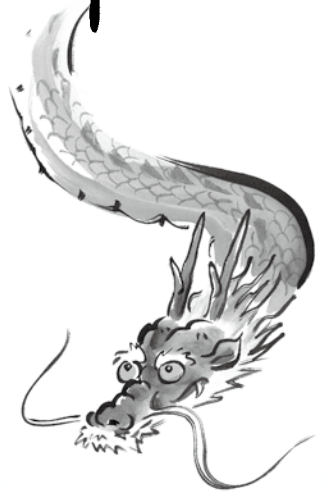


平成24年

# 謹賀新年



「住民の皆さまと

協働の元気なまちづくり」を進めます。



揖斐川町長

宗 宮 孝 生

輝かしい新年を迎え、今年も町民の皆さまにとって、良い一年でありますように、心からお祈り申し上げます。

昨年は、年始の大雪に始まり、3月11日の東日本大震災、5月に発生した台風2号や長雨、9月の台風12号、15号により、全国各地で大きな災害が多発し、住民の皆さまの「防災」「減災」に対する意識は益々高まっております。揖斐川町におきましては、幸い大きな災害はございませんでしたが、今年も町民の皆さま

が安全で安心して生活を送ることができるよう防災対策の強化を図り、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

さて、合併を進めてまいりました、まちづくり計画の重点プロジェクトであります、地域情報・道路・公共交通の3つのネットワーク整備も順調に進んでおり、平成23年度におきましては、今までの施策を承継しつつ「少子化対策・定住化の促進」を最重要施策として政策を進めております。

少子化対策といたしましては、児童生徒の医療費支援事業や、不妊治療費助成事業など、経済的負担の軽減や、子育てに関するトータル的な支援体制の継続と拡充を行い、子供を安心して産み育てることができ、環境の整備を継続するほか、次世代を担う子供たちが安心して教育を受けられる環境の整備として、幼児園や中学校、屋内運動場の整備や耐震化工事を実施しております。

定住化対策といたしましては、新築住宅にかかる固定資産税の減免措置や、新築住宅建設、住宅改修に対する助成を行い、町内で住宅を建てやすい環境づくりを進めております。

また、県内外からの移住・定住の推進として、「田舎暮らし体験事業」の拡充や「空き家バンク制度」の創設など、移住・定住希望者のニーズに沿った取り組みを行っており、これまで17回の体験事業を実施し、延べ56名の方が参加され、3組8名

の方が移住されております。町の活性化や、災害に強いまちづくりのために、必要な道路整備につきましましては、横山鶴見バイパス工事、冠山トンネル工事が行われており、北陸・近畿圏と東海圏を繋ぐルート整備が進んでおります。また、国道417号線岡島橋の架替工事につきましましては8月の下旬には通行できるよう工事が進められております。

循環型社会の構築に向けた取り組みとして、森林管理で発生した間伐材を燃料資源として活用する木質資源利用ボイラー施設を温泉施設に整備するほか、環境に優しい再生可能エネルギーである、小水力発電施設を設置を進めており、発電した電気は有害鳥獣防護柵への電力供給を計画しております。

有害鳥獣被害対策につきましては、「揖斐川町鳥獣被害対策協議会」を立ち上げ、広域的な防護柵の設置を行うなど、農林産物の被害防止への取り組みを進めております。

本年は、9月29日から「ぎふ清流国体」、10月13日から「ぎふ清流大会」が開催されるほか、25回目の節目を向える11月11日の「いびがわマラソン」など、全国に向けて揖斐川町の魅力を発信する絶好の年であります。大会本番に向け、今までの大会で培った「おもてなしの心」で、訪れた方をお迎えし「また揖斐川町に訪れたい」と言っていただけ

う、準備に万全を期してまいります。依然として厳しい国・県の財政状況や今後益々推進される地方分権により、自己責任・自己決定による町政運営が求められておりますが、昨年策定しました「第一次総合計画後期計画」に基づき、メリハリのある施策の実施を進め、住民の皆さんから「住んでよかった」と言っていただけ

れあいと活力のある健康文化都市」の実現に向け、町民の皆さまと共に考え、共に歩み、そして共に創る、住民協働の元気なまちづくりを進めてまいります。どうか本年も、町政に対する変わらぬご支援と、ご協力を賜りますようお願い、心からお願ひ申し上げます。ご挨拶いたします。



## 新年のご挨拶



揖斐川町議会議長

### 所 登喜雄

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様方には、新春をお健やかに

にお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、町議会に對しまして格別

のご指導、ご鞭撻を賜り、新年を迎えることができましたことを、心から感謝申し上げます、厚く御礼を申し上げます。ご挨拶いたします。

また、ぎふ清流国体の競技別リハサル大会の実施をはじめとして、間近に迫ったぎふ清流国体・ぎふ清流大会の成功に向けて積極的に取り組んでいただき、心よりお礼申し上げます。さて、昨年3月11日には、我が国観測史上最大マグニチュードを記録した東日本大震災が発生し、東北地方などの沿岸部に壊滅的な被害を

えたほか、この地震や津波の影響による重大な原子力事故も発生しました。少子高齢化や長期にわたる景気低迷といった課題に加えて、震災復興や原子力事故への対応は、岐阜県や県内市町村にとっても新たな課題として、財政面をはじめとする様々な分野に多大な影響を及ぼすと思われ

解決と町の将来像である「自然と歴史が育むふれあいと活力のある健康文化都市」の実現に向けて全力を尽くす所存でございます。私ども議会といたしましては、これからも、皆様方の意見を拝聴しながら、本町発展のため、より豊かな「住みよいまちづくり」をめざして議員が一丸となり、皆様方の信頼と期待にこたえてまいりたいと存じます。どうか、本年も町議会に對し、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様方にとって今年一年が健康で明るく幸せな年でありますよう、議員一同心からお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。